

# びろっぱ

Vol.430 5



## 医療情報

- 2022年度診療報酬改定
- 救急ワークステーション事業開始に向けて
- 医療機関からの紹介WEB予約導入

75th  
anniversary  
CHIKAMORI  
1946~2021

表紙の写真

2022年度 初期研修医の皆さん

近森病院

近森リハビリテーション病院

近森オルソリハビリテーション病院

からのお知らせ

2022年度の右記の祝日は、通常どおり外来診療をいたします ▶ 11月3日(木) / 2月23日(木)  
(文化の日) (天皇誕生日)

## 2022年度 診療報酬改定

# メリハリをつけた厳しい改定 ～求められる機能を果たしているかが問われた改定～



診療支援部 竹崎 智博  
医事課 課長 たけざき ともひろ

2022年度の診療報酬改定は、コロナ禍で医療がひっ迫する中、予想以上にメリハリをつけた厳しい改定になりました。

### 高度急性期～急性期のステージ

急性期のステージでは、充実した急性期一般入院料1(7対1)を評価する加算として、急性期充実体制加算が新設されました。ICU等を設置している病院では手術件数・救急搬送件数が多いことや、RRS(院内迅速対応システム)を導入している病院では心停止件数と院内死亡件数が減少していることから、「救急搬送」や「手術」の実績があり、「ICU等の設置」「RRS」等の要件を満たす病院には、これまでにない高点数の加算が新設されました。

ICUの見直しでは、事実上の上位区分となる「重症患者対応体制強化加算」が新設されました。当院では、以前より臨床工学技士の24時間配置や認定看護師の配置などに取り組んできました。要件となる集中関連の研修なども既に実施しています。

また、10年近く前から各集中病棟にMSW(医療ソーシャルワーカー)を配置し、

24時間以内の早期介入に取り組んできましたが、これについても「重症患者初期支援充実加算」として点数が新設されました。

### 回復期のステージ

最も厳しい見直しとなった地域包括ケア病棟では、求められる3つの機能(「ポストアキュート」「サブアキュート」「在宅復帰支援」)を適切に果たしているかが問われました。3つの機能ごとに減算規定が設けられ、基準を満たさない場合は入院料の減算という非常に厳しい内容となりました。

また、回復期リハビリテーション病棟では、重症度が引き上げられました。今後、これまでよりも早期に急性期から患者さんを受ける必要があります。

### チーム医療

チーム医療の評価では、集中病棟の早期リハビリや早期栄養管理が拡充され、新たに周術期の評価として、手術室の薬剤師配置を評価した「周術期薬剤管理加算」、全身麻酔患者の術前・術後における栄養管理を評価した「周術期栄養管理実加算」や、術後の疼痛管理を評価した「術後疼痛管理チーム加算」などが新設されました。

医師の働き方改革により、チーム医療を活用したタスクシフト・タスクシェアがさらに進んでいます。

### 外来の機能分化の促進

来年春には、『紹介受診重点医療機関』が決定され、外来の機能分化がさらに促進されます。今後、紹介受診重点医療機関は、専門的な治療や高度な検査、入院治療、救急医療に絞り込みを行い、急性期の治療が終了し病状が安定した患者さんは、早期にかかりつけ医などの地域の医療機関にお願いする必要があります。

### 最後に

本改定を振り返ると、近森病院では既に行っている内容のものが多く、患者ファーストで行ってきた取り組みや診療実績が成果として現れたように思います。目まぐるしく変化する医療情勢の中、2025年問題に向けた厳しい改定が続きますが、これからの医療の方向性を見定め、現場の方々と情報共有しながら、医事課としてしっかり診療現場をサポートしていきたいと思えます。

## 紹介WEB予約 導入しました!

※地域の医療機関からのみ

2022年  
4月から



近森病院  
地域医療連携センター センター長  
兼 消化器外科 主任部長  
塚田 暁 つつかだ あきら

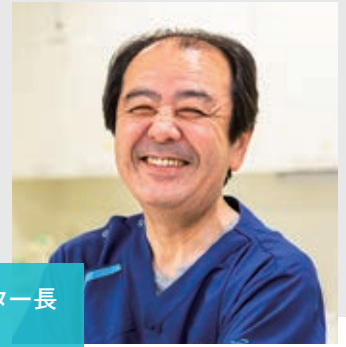
皆さんは外出するときWEBで予約をすることはありますか。ホテルの予約もWEBが主流になってきています。インターネットなどの通信技術を使用したサービスは、年々進歩しています。

2022年4月より地域の医療機関からのWEBを使用した外来予約を導入しました。もちろん完全にWEB予約に移行するわけではなく、今までの電話やFAXによる予約も継続して行います。



# 高知市消防 『救急ワークステーション事業』の開始に向けて

4月20日 締結式



近森病院 救命救急センター センター長  
根岸 正敏 ねぎし まさとし

## 救急隊員が救急車とともに

近森病院において、高知市消防のワークステーション事業が始まります。『ワークステーション事業』とは、救急救命士を含む救急隊員が救急車とともに拠点病院に待機し、医療機関と連携して出動要請に応じるもので、昨秋から準備を進めてきました。

重症者の発生時には、必要に応じて当院の救急医・看護師が同乗して臨場し、救急隊員の活動評価や観察、応急処置、特定行為、病院選定など、現場での指導・助言を行います。また、帰院後には事例検討、検証、さらには救急関連の講義、実技訓練などを通して、救急隊員の知識や技術の向上を図ることを目標としています。そしてこれは、直接的に患者さんの救命率向上、後遺症の軽減にもつながるもので大変意義深い取り組みと考えています。

当院での待機時間は勤務にあたりますので、院内で直接患者さんに対しての実習は行えませんが、救急搬送においてはその後の処置、治療を見学してもらうことなどもあります。

## 消防署と顔の見える連携のメリット

この事業では医療機関と消防機関で互いに顔の見える関係を構築することにより、日常の救急業務レベル向上のほか、ドクターカー出動時や災害時にスムーズな連携が期待されるなど多くのメリットがあると感じています。

このたび、4月20日に高知市からは岡崎市長をはじめ関係職員の皆さまが、当院からは近森理事長、根岸らが出席し高知市役所内で締結式が行われました。5月の連休明けから本格的に始動することとなりましたのでご報告いたします。皆さまのご理解ご協力を宜しくお願いいたします。



岡崎市長と近森理事長が調印を行いました。



本山消防局長と片岡次長と今後について談話。

## ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

### ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

WEB予約は、紹介したい医師を選択し、空いている時間を選択、最後に患者さんの名前を入力し送信ボタンを押せば終了です。予約日の3日前までに紹介状をFAXしていただく必要はありますが、目の前に患者

さんがいても簡単に予約時間は確定することができます。診療時間の終了後に紹介状を作成していただければ患者さんをお待たせすることはありません。

### ② 24時間予約可能

当院の地域医療連携センターは平日の9時から17時が稼働時間ですが、地域の医療機関は、平日17時以降や土曜日、日曜日にも診療しているところもあります。そのような場合、翌日や週明けの月曜日に予約を行わなくてはならず、地域の医療機関はこの日に予約が取れたことを患者さんへ改めて連絡しなくてはなりません。そのような手間を省くことができます。

ご利用の場合は、専用のログイン、登録が必要になりますので、詳しくは地域医療連携センターまでお問い合わせください。



資格取得

日本臨床栄養代謝学会  
認定医

念願の資格を取得!!

近森病院 消化器外科 主任部長 塚田 暁  
兼 地域医療連携センター センター長 つかだ あきら



2022年2月13日より日本臨床栄養代謝学会の認定医に認定されました。この認定医は、4年前に近森病院の常勤となり早急に取得しないといていたので非常にうれしいです。この認定医は、栄養サポートチーム(NST)専門療法士を取得するために実地修練を行う認定教育施設になるために必要な資格です。

近森理事長が認定医でしたが、終身認定医になられたことにより認定教育施設を返上せざるを得ず、栄養分野で全国的に有名な近森病院で研修してもNST専門療法士受験のための修練ができない状態でした。ただ、いまでも近森理事長は週2回2~3時間の充実かつ実践的なカンファレ

ンスを若手管理栄養士や薬剤師に対して行っておられます。

近森病院は病棟に管理栄養士が常駐するという先進的な取り組みを導入しています。近森病院で勤務している方はそれが当然のように感じるかもしれません。少しずつ病棟常駐型管理栄養士を導入する病院もありますが、今まで私が勤務した病院では管理栄養士はNST委員会などで会う機会しかなく、担当医がNST介入を依頼しない限り相談することができませんでした。この先進的な取り組みを行っている近森病院臨床栄養部を今後も盛り上げていきたいと思っています。

講習会

ママのためのカラダケア教室  
(2021年9月17日、11月25日、  
2022年1月24日)

「産前産後ケア」が  
当たり前の中

近森リハビリテーション病院  
理学療法士

岩佐 恵子 いわさけいこ



今回、高知県子育て支援「つむサポ講座」として、助産院はぐはぐ森木助産師さんにお声掛け頂き、「ママのためのカラダケア教室」を開催しました。コロナ禍のためオンライン開催も交え、延べ11人の妊産婦さんにご参加頂きました。講座では、身体のしくみや産前産後の身体・心の変化、身体を守る日常生活のコツをお伝えし、簡単な体操も行いました。参加者の方からは、「妊娠前から知りたかった」「少しの運動で体が楽になった」など嬉しい感想を頂きました。(※)

わが家には10歳と7歳の子供がいますが、「産前産後ケア」「ウイメンズヘルスケア」を知ったのは第二子出産後です。妊娠中は悪阻や切迫早産を経て無事出産したものの、問題は産後。授乳が上手くできない、寝ない。わが子はこんなにも可愛いのに、泣き止まない姿に自分はダメなお母さんだと一緒に泣いて過ごしていました。



子育ては、産んでからノンストップです。この分野を学ぶにつれ、妊娠前から産前産後について正しく知る事、新生活のイメージ作りや周りに頼る準備など、備えがとても大切と気付きました。これから妊娠出産を迎える方やパートナー、産後時間が経った方、妊娠出産経験の無い方でも、正しい知識とセルフケアで心や体が軽くなる事を知って欲しいです。産前産後ケアが当たり前の世の中になることが、女性の一生の健康を守ることに繋がると考えています。

今後は、院内でスタッフへの講座を計画しますので、ご興味ある方はぜひご参加下さい!



※詳細記事: 高知の子育てウェブメディア ココハレ  
<https://kokoharekochi.com/article/feature/tsumusuppo/n26349/>





## 2021年度 看護師特定行為研修 修了式にあたって

近森病院  
看護師特定行為研修指導責任者  
看護師長

山脇 久男 やまわき ひさお



2021年度の看護師特定行為研修は栄養コース4名、外科基本コース3名、集中コース4名、救急コース2名にて6月1日より開始し3月26日に13名揃って修了式を迎えることができました。研修では、仕事と両立しながらe-learningによる講義・演習、約4か月におよぶ臨床実習というハードな日程も受講生全員が協働・協力し乗り越え、受講生は多くの学びを得ることができました。今回、新たに集中治療および一般病棟での活躍が期待される特定行為区分を修得した受講生を臨床現場に送りだします。

修了生が今後、自施設で大いに活躍してくれることを切に願いつつ2021年度特定行為研修にご協力いただいたすべての皆様へ厚く御礼申し上げます。

## どのように働くかの ビジョン

独立行政法人 国立病院機構  
高知病院 看護師

和田 紘幸さん  
わだ ひろゆき  
(外科基本コース)



COVID-19の第6波が発生し、各所が大変な中で温かく実習を受け入れて下さり、特定行為研修指導責任者の山脇師長をはじめ、数多くの方々にご指導いただき感謝申し上げます。また研修に御協力くださった患者様や御家族にも重ねて感謝申し上げます。

私は今回の研修で様々な学びを得ることができました。特に毎週、ICTや形成外科のカンファレンスに同席させてもらったことは良い経験となり、自施設でどのように働くかのビジョンを形成する一助となりました。

研修をする中でこれから求められることの大きさを知って押しつぶされそうですが、一朝一夕にはならないことなので日々精進し、特定行為研修修了者として責任と役割を果たしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## よりスムーズな緊急手術の受け入れを目指し

近森病院 麻酔科 部長 杉本 健太郎 すぎもと けんたろう

麻酔特定看護師の皆さんと麻酔管理と一緒にやりだしてから1年が経ちました。真剣に麻酔に取り組んでくださっていて、手術を受ける患者さんに安全な麻酔を提供してくれています。近森病院は救急患者が多く、緊急手術患者も多い病院ですが、特定看護師のおかげで緊急手術の受け入れがとてもスムーズになりました。ありがとうございます。

特定看護師の皆さんが快適に仕事をできるように、知識をアップデートし素晴らしい経験が積めるように、これからも麻酔科全員で協力させていただきます。

▶ 術中麻酔管理領域パッケージ研修修了者、左から澤田美咲、横田涼、中内智大。来月号から一人ひとりの活動についてご紹介予定です。



特定行為  
修了看護師  
麻酔科編

vol.1

連載(全4回)



# 2021年度 研修医修了証書授与式

## 2021年度 研修医修了証書 授与式を迎えて

初期臨床研修管理委員会 委員長  
近森病院 救急科 科長

**三木 俊史**  
みき としふみ



この度、近森病院プログラム10名の2年間の研修修了と、高知大学たすきがけプログラムの2名が1年間の当院での研修を修了し高知大学に帰るため、3月28日に修了式を執り行いました。4月からは9名が高知県内で（近森病院8名）、1名が県外で勤務することとなります。新型コロナと共に研修が始まり、コロナと共に過ごした研修でした。仕事にもプライベートにも制限の多い2年間でしたが、これからの医師人生にとっては貴重な経験になったと思います。初心を忘れず、感謝を忘れず、当院で培った力を存分に発揮し、これからのご活躍を期待しています。

## 2021年度 初期臨床研修医

### あつという間の2年間

**岡 真萌** おかまほ



右も左もわからない状態で始まった研修医生活ですが、周りの方々に支えられて、なんとか修了まで迎えることができました。3年目は近森を離れてしまうため、寂しい気持ちが大きいですが、ここで学んだことを忘れずにまた1歩踏み出そうと思います。2年間本当にありがとうございました。

### 3年目もいます

**木下 敦夫** きのした あつお



近森病院での研修医生活は、時に厳しく常に楽しい2年間でした。皆様のおかげで充実した研修が送れました。もう少し研修医でいさせてほしいですが、無事卒業できるうちに卒業させていただきます。3年目から近森病院の消化器外科で働かせていただきます。これからもよろしくお願いいたします。

### 頼もしいオーラも纏います

**黒川 夢彦** くろかわ ゆめひこ



上級医の先生方、各職種の皆さんに支えていただき、二年間終始楽しく研修することができました。気がつくとな近森が好きになってしまい、3年目以降も専攻医として勤務させていただきます。今後は声をしっかり出すとともに、頼もしさも身につけられるよう精一杯精進して参りますので、どうかよろしくお願いいたします。

### 常に前進

**小林 海里** こばやし かいり



近森病院での研修は忙しいながらも充実感があり、成長を感じられる2年間でした。初めは救急車のサイレンを聞くのが怖かった私が救急科に進むことになるとは自分でも驚きです。ただその決断も近森で過ごした結果であり、自分にとっては素晴らしい研修でした。まだまだ未熟な部分が多いですが、少しでも力になれるよう日々精進していきます。これからもよろしくお願いいたします。



## 全ての出会いに感謝しています

馬場 咲歩 ばば さきほ



本当にあっという間の2年間が終わってしまいました。自分のあまりのできなさに泣いて過ごしたことも多々ありましたが、たくさんの方々のおかげで、優秀な同期に引き上げてもらいました。ここでの出会い全てが、私の人生の宝物です。まだまだ成長途中ですが、患者さんが自分らしく過ごせるよう、支えられる医師になりたいと思います。

## 貴重な2年間

保地 陽輝 ほぢ はるき



右も左も分からない状況で始まった研修医生活でしたが、温かくご指導して下さったすべてのスタッフの方に感謝申し上げます。2年前には想像もできなかったような経験を多く積むことができ、この病院で研修できたことをうれしく思います。2022年度から循環器内科医として初心を忘れず、日々の診療を行っていきたいと思います。

## 第3の故郷

村川 和也 むらかわ かずや



働きはじめてからはや2年が経ちました。近森の研修は決して楽な研修ではありませんでしたが、自分が主体となって研修を行うことができ、その分成長することができたのではないかと思います。2022年度からは消化器内科で引き続きお世話になります。さらに責任が伴う立場になりますが、研修で学んだことを糧に精一杯働いていこうと思います。

## 恩返しができるよう

森河内 萌 もりこうち もえ



2年間の研修はあっという間でした。慣れない環境で戸惑うことも多かったですが、頼れる同期や先生方、コメディカルの方々、メンターの先生に支えられ漸くここまで来られたと思っています。4月から近森病院で働く予定ですので、これまで支えていただいた恩返しができるよう邁進いたします。

## 充実した2年間

山口 宗祥 やまぐち ひろよし



早いもので近森病院に入職して2年の月日が過ぎ、2022年3月に初期研修を修了しました。最初は右も左もわからない状態でしたが、多くの先生方やコメディカルの方々、そして患者様にもたくさんご指導いただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。まだまだ経験も浅くできないことも多くありますが、日々の努力を惜みず成長を続けていきたいです。

## 研修医サバイバル

吉本 光平 よしもと こうへい



2年間はあっという間でした。傷ついたこと、怖かったこと、終わったと思ったこと、怒ったこと、悲しかったこと、嬉しかったことなど色々ありました。大きく成長でき、近森病院に愛着も湧きました。職員の皆様にも感謝しかありません。4月からは愛媛で新生活がスタートします。次お会いした時、良いDebriefingができるよう精進します。



## ベスト研修医賞

ベスト研修医賞を受賞した馬場咲歩医師。

三木委員長と、プログラム責任者の杉田部長とともに。おめでとう!

## 高知大学たすきがけ 1年目修了

## ありがとうございました

田中 漱一郎 たなか そういちろう



ようやく上級医の先生方や看護師さんをはじめとするコメディカルの方々に、顔と名前を一致して覚えていただけたかなと自信がでてきたところでしたが、近森病院での研修が修了となりました。多くの方々へ支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。また一緒に仕事ができればと思っておりますので、僕のことを忘れないでください。(笑)

## これからも忘れずに

吉本 公美 よしもと くみ



近森病院での研修はとても充実して学ぶことが多く、教育熱心で気さくな優しい先生方・コメディカルの方々にも出会え、1年目に研修出来て本当に良かったです。指導して頂いた内容や経験、そして初心を忘れずに、これからも頑張っていきたいと思います。楽しくてあっという間でした。ありがとうございました。

# 熱烈応援 昇格人事

## 消化器外科を盛り上げていきます

近森病院 消化器外科 主任部長  
兼 地域医療連携センター センター長

塚田 暁 つかだ あきら

この度、4月1日付けで消化器外科主任部長に就任いたしました。近森理事長、北村部長、八木部長が今まで築いてきた外科を任されることになり身の引き締まる思いです。2018年4月に親友に誘われ近森病院へ就職し4年経過しましたが、もう4年もたったのかという気持ちです。これからも臨床、教育、研究の3つの分野で若手医師を引っ張っていき、消化器外科を盛り上げていきたいと思っております。



【出身大学】順天堂大学 2001年卒業  
【専門分野】外科、消化器外科、肝胆膵外科  
【主に担当する疾患・手技】肝・胆・膵外科、消化器一般

【認定資格】

- 日本外科学会・外科専門医
- 日本消化器外科学会・消化器外科専門医
- 日本消化器外科学会・消化器がん外科治療認定医
- 日本消化器病学会・消化器病指導医・専門医
- 日本肝臓学会・肝臓指導医・専門医
- 日本胆道学会・認定指導医
- 日本がん治療認定医機構・認定医
- 日本腹部救急医学会・腹部救急認定医
- 日本臨床栄養代謝学会・認定医

近森会グループで元気に働く仲間を紹介します



## 高齢化先進県に 低侵襲かつ根治的な 外科治療を

近森病院 呼吸器外科 部長  
穴山 貴嗣  
あなやま たかし

高知大学医学部附属病院の呼吸器外科診療科長から、4月より近森病院呼吸器外科部長に就任致しました。前職では県下の各医療機関から御紹介を頂き、過去5年間で県下最多850例余の手術治療を担当させて頂きました。肺がんをはじめとする胸部悪性疾患や気胸・膿胸など良性疾病に対する治療全般を専門にしています。近森病院では最新の低侵襲外科治療を迅速に提供することで患者さんの御期待にお応えします。



【出身大学】

高知医科大学(現・高知大学) 1996年卒業

【専門分野】

肺癌・気胸・膿胸など胸部の低侵襲外科治療

【主に担当する疾患・手技】

完全胸腔鏡下悪性腫瘍手術ほか、呼吸器外科領域

【認定資格】

- 日本外科学会 外科認定医・専門医・指導医
- 呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医
- 日本呼吸器外科学会 評議員
- 日本呼吸器外科学会 ロボット支援手術プロクター
- 医学博士(高知医科大学・2000年)
- 難病指定医
- 臨床研修指導医
- 英検準一級
- ベストドクターズ®社 Best Doctors in Japan2018-2020 選出
- ベストドクターズ®社 Best Doctors in Japan2020-2021 選出
- University of Toronto, Thoracic Surgery Research fellowship修了(2010-2012)

## どのように解釈し、伝えるか

近森病院 病理診断科 科長  
中嶋 絢子 なかしま じゅんこ

病理という「顕微鏡」というイメージが強いかもしれませんが。我々の診断業務のうち、顕微鏡を覗いている時間は意外と短く、肉眼所見の観察や組織所見をどのように解釈し診断するか、どのように伝えるかにより多くの時間を割いています。臨床の先生方との対話を重ねて、より真実に近い診断を心がけます。



【出身大学】

高知大学 2009年卒業

【専門分野】

外科病理

【認定資格】

- 日本病理学会 病理専門医
- 日本臨床細胞学会 細胞診専門医
- 死体解剖資格



## 志を持って

近森病院 消化器内科 科長  
梅下 仁 うめした じん

これまで内科疾患全般の general な対応に努めつつ、消化器内科医として消化管出血や胆管炎などの救急疾患から、癌や慢性肝疾患など慢性疾患の診療を行ってきました。今後も幅広い疾患に対応することはもちろん、内視鏡検査・治療を中心にさらに専門性を高め、高知県の医療に貢献できるように日々診療して参ります。

**【出身大学】**  
高知大学 2011年卒業  
**【専門分野】**消化器内科  
**【主に担当する疾患・手技】**  
消化器全般、  
内視鏡検査・処置  
**【認定資格】**  
・日本内科学会・認定内科医  
・日本消化器病学会・  
消化器病専門医  
・日本消化器内視鏡学会・  
消化器内視鏡専門医



## 常に一步前へ

近森病院 リハビリテーション部作業療法科  
作業療法士 主任  
山本 学 やまもと まなぶ

「目の前の患者さんを少しでもよくしたい!」をモットーに臨床を続けてきました。しかし、まだまだ課題は山積みで一つ一つ整理したいと考えています。今後は主任という役割を理解し、患者さん・スタッフへより一層作業療法の魅力とアプローチを提供できるよう前進し、貢献していきたいです。よろしくお願いいたします。



## 立ち止まらずに

近森リハビリテーション病院  
リハビリテーション部理学療法科 主任  
安村 広之 やすむら ひろゆき

近年、質の評価が重要となり、新年度から理学療法の分野において、生涯学習の改訂により質の向上が求められています。日々の業務に加え、理学療法科の質の向上に繋がる活動を継続し、その役割を担えるよう、日々精進したいと思います。自分の個性を出し、立ち止まらずに行動し続けていきたいと考えています。



## 緊張と緩和

画像診断部  
診療放射線技師 主任  
村岡 孝吉 むらおか たかよし

医療機器技術の進歩により、高度な画像提供が求められる中、チーム医療の一員として自分の役割を認識し、良い意味で緊張感があり責任のある行動ができればと考えています。

また、気軽にコミュニケーションがとれるような和やかな現場作りができればと思います。

緊張と緩和のバランスを大切にしたいです。

## 多職種協働

画像診断部 診療放射線技師 主任  
西森 美千代 にしもり みちよ

勤務し始め数十年という年月が経ちました。近森病院で働いて好きな所は他職種とのコミュニケーションです。長く勤務している事を活かし他職種の方と画像診断部を繋ぐ役割を心がけ医療の効率化・質の向上を目指す事を長い目標に頑張りたいです。



## 続けていくことも大事

画像診断部  
診療放射線技師 主任  
田中 宏親 たなか ひろちか

入職した当時の技師長に、ここは検査部門だから検査に時間かけても病気は治らない、早く検査を終えて治療部門に帰るのが私たちの仕事だと教わりました。早く検査を終えるために、放射線技師として今の自分に出来ることは何か?と考えながら仕事をしていました。これからは自分に出来ることは?と考え続けていこうと思います。

## チームワークを大切に

薬剤部 薬剤師 主任 雨森 祐貴 あめのもり ゆき

周りの同僚に支えてもらい、子育てと両立しながらここまで続けてくることができました。医療薬学会の発表後には、薬局長を交えたメンバーで涙を流して讀え合った日のことは、恥ずかしながらも私の宝物となっています。

近森だからこそのチームワークを大切に、これからは私も力添え出来ればと思っています。



## 患者満足を忘れずに

近森病院 救命救急病棟 看護師長  
**榎尾 幸聖** かしお こうせい

昨年10月にERから5年ぶり2回目の救命救急病棟への異動となりました。前回の救命救急病棟とは比べものにならない入院転棟数で、加えて超急性期治療から退院調整までが嵐のようにやって来て過ぎていく印象です。その様な現場であっても、常に患者さんファーストである事を忘れず、患者さんが満足できる様、スタッフと共に日々取り組んでいきたいと思っています。



## 小さな事からコツコツと

近森病院 8A病棟 看護師長 **中山 和代**  
なかやま かずよ

入社して20数年、楽しいことも大変なことも色々ありましたが、私の看護人生は近森病院にすべて詰まっています。人に寄り添い、居心地のよい空間を目指して、小さな事からコツコツと、チームワークを大切に、与えていただいたものをお返しできるよう頑張っています。



## 人との繋がりを大切に

近森病院 SCU病棟 看護師 主任  
**井上 美幸** いのうえ みゆき

近森病院へ入社して16年が経ちました。これまで、脳神経系疾患を対象とした一般病棟で勤務し、昨年10月にSCU病棟へ異動しました。この度、主任心得を拝命しました。まだまだ看護師として成長途中ですが、これからも人との繋がりを大事にしながら、焦らず自分の歩幅で成長していきたいと考えています。よろしくご指導下さい。



## 思い描いた師長像を目指して

近森オルソリハビリテーション病院  
 4階病棟 看護師長 **野村 由香** のむら ゆか

これまでの看護師経験の中で、たくさんの師長さん方と一緒に働いてきました。私に師長が務まるのか不安でいっぱいですが、現場を大事にスタッフが働きやすくやりがいを持って、何でも言い合える職場作りを心掛け、自分なりに思い描く師長像を目指していきたいと思っています。



## 初心、感謝の気持ちを忘れずに

近森病院 救命救急病棟 看護師 主任  
**佐々木 りえ** ささき りえ

4月1日付けで主任心得の辞令をいただきました。一般病棟からスタートした近森病院での私の看護師人生はあっという間に十数年が経ちました。沢山の方々に支えられ、さまざまなことを学ばせて頂きました。

看護師経験と年齢は人一倍重ねていますが、初心や感謝の気持ちを忘れずに病棟の力になれるよう自分らしく頑張りたいと思っています。



**克己心を持つ** 近森病院 HCU 主任  
**池上 小也加** いけがみ さやか

「克己心を持って」恩師よりいただいた言葉です。当時の私はあまり深く考えていなかったのですが、今その言葉が思い出されます。「自己に打ち克つ心」、楽な方に流され易い私を制してくれる言葉です。ロールモデルになれるよう、一層気を引き締め、気負い過ぎずに頑張りたいと思っています。ご指導宜しくお願いします。



## 主任心得を拝命されて

近森病院 北館4階病棟 看護師 主任  
**恒石 あやの** つねいし あやの

以前から管理職に自分は向いていないと思っていましたが、「誰でもできることではない、選ばれたことは素晴らしいことだ」と、尊敬する方々からの後押しもあり、主任心得の任を引き受けさせてもらうことになりました。明るく、前向きに、病棟スタッフが同じ方向を向いて仕事ができるよう、頑張りたいと思っています。



# 献血 キャンペーン & 上位参加者表彰

定例の献血キャンペーンと、より献血推進を盛り上げるため、第2回上位参加者表彰を実施しました。

2022年3月24日



## 初心を忘れず

高知ハビリテリングセンター  
児童・地域部 部長

川瀬 佐織 かわぶち さおり

近森会に入職し、20年以上が経ちました。この間入院治療から地域支援までさまざまな経験をさせていただいています。振り返ると大変なこともありましたが、「役割が人を育てる」をモットーに、自分にできることを懸命に取り組んできました。これからも初心を忘れず、向上心を持って職務に邁進いたします。



## 新たなスタート

高知ハビリテリングセンター  
就労・相談部アルベーター  
就労移行・就労定着  
サービス管理責任者

半田 明日翔 はんだ あすか

新たに就労移行支援・就労定着支援のサービス管理責任者となり、その責任を果たせるよう、一人一人の「働きたい」に向き合い、就職がゴールではなく、新たなスタートとなるよう、精一杯努めて参りたいと思います。そして、これまで築いてこられた支援を大切にしながらも、私らしく利用者の皆様に寄り添っていきたいと思います。

## 結果

血液センター様からの  
目標(50名)達成!

- 協力者(受付者数) …… 56名
- うち献血できた方 …… 50名



左より

後列／

- 高知県赤十字血液センター 村越 麗様
- 輸血療法委員会委員長 榮枝 主任部長
- 近森理事長
- 高知市献血推進員 寺田 管理部長

前列／受賞者5名

- 診療支援部施設用度課 宮下 公将
- 近森病院 臨床工学部 臨床工学士 吉川 優成
- 近森リハビリテーション病院 理学療法士 小笠原 正
- 近森病院 画像診断部 診療放射線技師 久保 行広
- 診療支援部電子カルテ管理課 濱田 真次

## あなたのその時間が、あの人の命をつなげる

近森病院輸血療法委員会 委員長 榮枝 弘司  
消化器内科 主任部長

さかえだ ひろし

全国の献血協力人数は、昭和60年度の約876万人から減少が続き、令和元年度では全国で延べ約493万人となっています。

更に新型コロナウイルス感染症の拡大により、献血バスによる団体献血の中止が相次ぎ、外出自粛も呼びかけられるなど全国的に献血協力人数が減少し、安定的な血液確保が厳しい状況が続いています。しかし病気や外傷の手術など輸血を必要とする患者さんは多く、一人でも多くの方のご協力が欠かせ

ません。その中で10回以上の献血をさせていただき表彰されました5人の職員の方には非常に感謝しております。

献血の標語に『あなたのその時間が、あの人の命をつなげる。』という言葉があります。これからも献血へのご協力とご理解をよろしくお願いいたします。



## 財布の痛まない社会貢献

近森病院 臨床工学部 吉川 優成  
臨床工学士

よしかわ ゆうせい



私にとって最も思い出深い献血は、無職の頃、「財布の痛まない社会貢献は献血だ!」ということで、献血ルーム「やまもも」で行った献血です。そこは、カゴに入ったお菓子が食べ放題、自動販売機の飲み物が飲み放題の、至れり尽くせりの場所でした。以来、30回ほど献血を続けていますが、「今日も元気だ!献血できる!!」をモットーに体のメンテナンスを心がけています。

2022年度 献血キャンペーン  
開催予定

6月・10月・3月





第8期生

# 入学式

2022年4月6日



## 希望と志し胸に8期生入学

近森病院附属看護学校 専任教員 松浦 美樹  
まつうら みき

2022年4月6日、希望にあふれる春を迎え、45名の新1年生が入学しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症禍の中、感染対策を行いながら、入学生、在校生、保護者の方、来賓の方を迎えて無事、入学式が挙行されました。また、天気にも恵まれ、バルーンリリースも行われ、色とりどりのバルーンが空高く舞い上がりこれからの学生生活の背中を押してくれているように感じました。これから、新しく学ぶ沢山のことを、クラスメイトとともに励まし合いながら、学んで欲しいと思います。これからの1年がとても楽しみです。



2022年度

# 入社式

2022年4月1日



中途入職者を含め140名が参加しました。

当日は天気に恵まれ、入社式恒例、小川町公園の桜の下での集合写真が撮影できました。

皆さんには支えあえる同期の仲間も、頼れる先輩たちもいます。新しい生活を一緒に元気に頑張りましょう!



▲ 入社式では理事長から直接、近森会グループについてレクチャーが受けられます。



▲ 振り返りテスト成績優秀者、左からオルソリハ4階病棟 小松楓さん、リハ病院理学療法科 吉村清和さん、本館7階A病棟 浜田真菜さん



▲ 災害対策室 楠瀬達也室長による「火災発生時の対応」の一幕。



▲ 救急科 井原則之部長による「災害対応レクチャー」をユニフォームに着替えて受講。今年で2回目の実施で人気の講話。



▲ Zoomにて下田静香講師による新人研修を実施。社会人になる際の重要なポイントを教えていただきました。



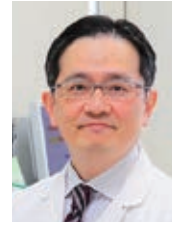
▲ 美味しいお弁当を黙食で。

# New face

ニューフェイス

4月に入職した医師を紹介します。

- ① 所属
- ② 出身地
- ③ 最終出身校
- ④ 卒業年次
- ⑤ 趣味など



**穴山 貴嗣**  
あなやま たかし

- ① 呼吸器外科(部長)
- ② 徳島県
- ③ 高知医科大学(現・高知大学)
- ④ 1996年
- ⑤ 仕事と趣味の境界は曖昧。蛍光ナビ手術技術開発・学会発表(海外旅行)。息子と陸っぱり釣りを少々。スキューバ、PC自作。



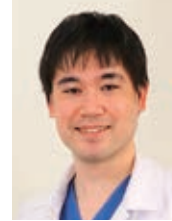
**井ノ口 崇**  
いのくち たかし

- ① 整形外科(科長)
- ② 宮崎市
- ③ 自治医科大学
- ④ 2001年
- ⑤ 徳島大学で1年間腰痛の勉強をしてきました。どんなことでもお気軽に話しかけてください。



**中嶋 絢子**  
なかしま じゅんこ

- ① 病理診断科(科長)
- ② 愛知県小牧市
- ③ 高知大学
- ④ 2009年
- ⑤ 仕事、子育て、趣味(書道)に日々奮闘しています。



**小松 洵也**  
こまつ じゅんや

- ① 循環器内科
- ② 高知県
- ③ 高知大学
- ④ 2017年
- ⑤ 半年ぶりに帰ってきました。患者さん、地域の病院から愛される近森病院のために努力したいです。



**西村 祐希**  
にしむら ゆうき

- ① 循環器内科
- ② 兵庫県
- ③ 高知大学
- ④ 2015年
- ⑤ 半年ぶりに帰ってきました。戻ってきて良かったとウソでも言ってもらえるよう張り切りします。



**川上 拓也**  
かわかみ たくや

- ① 循環器内科
- ② 千葉県
- ③ 福井大学
- ④ 2015年
- ⑤ 自然豊かな高知で趣味のドライブをするのが楽しみです。



**岡本 奈緒**  
おかもと なお

- ① 循環器内科
- ② 高知県高知市
- ③ 高知大学
- ④ 2015年
- ⑤ 2年ぶりの近森病院勤務です。1日1日大切に過ごしたいと思います。おいしいものを食べてるときが一番幸せです。



**佐竹 朋美**  
さたけ ともみ

- ① 消化器内科
- ② 土佐市
- ③ 高知大学
- ④ 2009年
- ⑤ 数ヶ月だけ大学病院へ肝臓疾患を中心に研修に行っていました。また声かけてもらえたら嬉しいです。



**堤 聡**  
つつみ さとし

- ① 脳神経内科
- ② 徳島県
- ③ 神戸大学
- ④ 2009年
- ⑤ 趣味は温泉巡りとぶらぶら街歩きです。



**藤原 絵理**  
ふじわら えり

- ① 呼吸器内科・感染症内科
- ② 大阪府堺市
- ③ 高知大学
- ④ 2020年
- ⑤ 趣味は散歩と美味しいものを食べることで。明るく元気に過ごしていきたいと思います。



**斉藤 優奈**  
さいとう ゆうな

- ① リウマチ・膠原病内科
- ② 長野県松本市
- ③ 富山大学
- ④ 2019年
- ⑤ 聖路加国際病院から地域研修で半年間お世話になります。お仕事はもちろん高知の素敵なおところをたくさん吸収したいです。



**澤村 大造**  
さわむら だいぞう

- ① 総合内科(内科ローテ)
- ② 高知市
- ③ 島根大学
- ④ 2019年
- ⑤ 卒後4年目、内科専攻です。他の職業を経て、医師に転職しました。見た目だけベテラン風です。



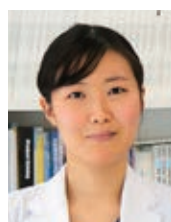
**篠原 康太**  
しのはら こうた

- ① 整形外科
- ② 香川県
- ③ 埼玉医科大学
- ④ 2016年
- ⑤ 幼稚園の時から、約30年ぶりの高知での生活が楽しみです。



**西本 祥大**  
にしもと しょうた

- ① 脳神経外科
- ② 高知市
- ③ 高知大学
- ④ 2013年
- ⑤ 初期研修を近森病院でお世話になり、今回8年ぶりに戻ってきました。近森病院で仕事できるのが楽しみです。



**梁瀬 瑛蘭**  
やなせ えいらん

- ① 脳神経外科
- ② 東京都
- ③ 東京女子医科大学
- ④ 2019年
- ⑤ 大学から1年ぶりに戻ってきました。



**芝 佑平**  
しば ゆうへい

- ① 泌尿器科
- ② 高知
- ③ 高知大学
- ④ 2015年
- ⑤ 4月より赴任となりました。泌尿器科での手技をこれからもみがいきます。スポーツやアウトドアに最近は興味があります。



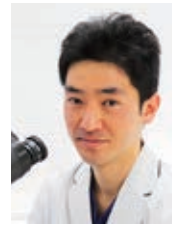
立道 佳祐  
たてみち けいすけ

- ① 救急科
- ② 土佐市生まれの関西育ち
- ③ 金沢大学
- ④ 2015年
- ⑤ 好奇心が旺盛です。外科(胸腹部)出身ですが、もっと色んなことが学びたいと思い、救急へ転属しました。スポーツ以外の遊びは大体好きです。



飯沼 未来  
いぬま みくる

- ① 救急科
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 2020年
- ⑤ 細木病院で初期研修を修了し、4月より近森病院救急科で後期研修を行わせていただきます。フェレットを飼っています。



坂西 誠秀  
ばんざい せいしゅう

- ① 病理診断科
- ② 埼玉県
- ③ 鳥取大学
- ④ 2015年
- ⑤ 広島県で5年間病理学を学んで参りました。正確で迅速な診断を行うべく、全力を尽くして参ります。

## 初期研修医

① 所属 ② 出身地 ③ 最終出身校 ④ 趣味など



齋藤 廉 さいとうれん

①

- ① 初期研修医たすぎがけ2年目
- ② 東京都 ③ 高知大学
- ④ 1年目は高知大学で研修を行ってきました。この1年は近森病院でしっかり研修をしていきたいと思ひます。

新納 健人 しんのう けんと

②

- ① 初期研修医たすぎがけ2年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 1年目は高知大学で研修していました。部活はサッカー部、趣味はサウナです。

大原 桃子 おおはら ももこ

③

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 趣味は音楽を聴くことや、写真や動画の編集をする事、温泉に入ることです。爽りある2年間にしたいです。

橋本 温子 はしもと あつこ

④

- ① 初期研修医1年目
- ② 東京都 ③ 東京医科大学
- ④ 趣味は旅行と映画鑑賞です。東京出身で初めて都外に出るため、新しい場所での生活に不安もありますがそれ以上にとても楽しみです。

高本 琴子 たかもと ことこ

⑤

- ① 初期研修医1年目
- ② 熊本県 ③ 高知大学
- ④ 趣味はホットヨガとドラマを見ることです。美味しいお酒とごはんがあれば、何でもできます。

城 可方 じょう かほ

⑥

- ① 初期研修医1年目
- ② 大阪府 ③ 高知大学
- ④ 憧れの近森病院で働けてすごく嬉しいです!現在趣味を探しています。皆様たくさんお話ししましょう!

木村 和俊 きむら まさたか

⑦

- ① 初期研修医1年目
- ② 香川県 ③ 高知大学
- ④ 中高ではテニス部、大学ではダンス部に所属していました。新しい環境で、日々、向上心を持って精進していきたいです。

高島 惇志 たかしま あつし

⑧

- ① 初期研修医たすぎがけ1年目
- ② 奈良県 ③ 高知大学
- ④ 趣味は運動をすることで、体力には自信があります。立派な医師になれるように精進してまいります。

三浦 格 みうら ただし

⑨

- ① 初期研修医1年目
- ② 大阪府 ③ 群馬大学
- ④ 多くを学び、経験を積み、患者さんやスタッフからも信頼してもらえるような医師を目指して精進します。

小田 吏欧 おだ りお

⑩

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知市 ③ 高知大学
- ④ 大学ではテニス部、軽音部に入っていました。とにかく体を動かすこと、美味しいものを食べるのが趣味です!

山内 涼平 やまうち りょうへい

⑪

- ① 初期研修医1年目
- ② 愛媛県 ③ 高知大学
- ④ 趣味は映画鑑賞や、筋トレです。大学ではラグビー部に所属しており、体力に自信があります。

池上 勇人 いけのうえ はやと

⑫

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知市 ③ 高知大学
- ④ 趣味は旅行です。コロナが終息し、心置きなく旅行できる日が来ることを願っています。

竹田 有佑 たけだ ゆうすけ

⑬

- ① 初期研修医1年目
- ② 大阪府 ③ 高知大学
- ④ 大学では陸上部に所属し、投てき競技をしていました。朝ドラが毎日の楽しみです。



## リレーエッセイ

## Discover Kochi

近森リハビリテーション病院 理学療法科

豊田 貴史 とよた たかふみ



今回のエッセイでは私の趣味であるカメラと観光列車について書きます。高校二年生の時、一眼レフ機を母から譲ってもらったことがきっかけで写真活動を始めました。そして昨年2月、念願のフルサイズミラーレスカメラを購入しました。きっかけはJR四国の観光列車「志国土佐 時代の夜明けのものがたり号」のポスターに私の写真が採用されたことです。それ以来、JR四国の担当の方とも仲良くなり、継続して観光列車の写真を提供しています。撮影時は構図・被写体の明るさ・色彩にこだわっています。特に明る



さと色彩は天候に大きく左右されるため、上手く撮れないことが多いです。最近はコロナで県外旅行が自由にできない中、観光列車の写真活動を通じてJR職員の方や地元の方とのつながりを深めることができました。皆さんもぜひ一度「志国土佐時代の夜明けのものがたり号」に乗って地元高知の魅力を再発見してみたいはいかがでしょうか。



## 私の趣味

## らくがき

近森病院  
総合心療センター  
薬剤部 薬剤師

田上 浩子

たのうえ ひろこ



私の趣味は「らくがき」です。

昨年102歳で亡くなった祖母が大好きだったデイサービスは、その日の出来事を写真付きのお便りで知らせてくれていました。そのお便りに「家での状況」を知らせる欄がありました。私はそこに家での祖母の絵を描いて返していました。何気なく始めたことでしたが6年間続きました。



左は祖母の連絡帳に描いたもの、右は自分の手帳に描いたものです

た。意外にもデイサービスのスタッフの皆さんに好評で、祖母も「上手に描くね」と誇らしげだったので「らくがき」を趣味と胸をはって言うようになりました。祖母が最後の入院をした時、着替えを入れたビニール袋に毎回「らくがき」をして持っていました。コロナ対策で私達家族は病室に入ることができませんでしたが、私の「らくがき」は祖母の目の届くところに飾ってもらっていました。祖母の連絡帳に「らくがき」をする事はなくなりましたが、自分の手帳やノートの片隅に今でも描いています。

Twitter@bonko\_rakugakiに「らくがき」をあげています。よかったです是非。

FREE

## まるまる 私の〇〇

〇〇にフリーワードを入れて  
語っていただきました

## 私の「楽しみ」

四国管財株式会社  
保育室そと 保育士

西岡 美智先生

にしおか みち



今は亡き母に子供の頃から教えてもらった編み物。母と一緒に同じ事をしているのが嬉しかった記憶があります。若い頃は棒針編みにはまり編み物教室にも通った程。徹夜なんかも苦にならない位でした。いつの頃からか遠ざかってしまった編み物でしたが3~4年位前より再燃!!今度は鍵針編みにどっぷり。若い頃にはいきませんが、つつい時間を忘れて編んでいる時があります。今悩みの種なのはどんどん重んでゆく糸代…。





こちらでは紹介予約外来(外来センター)に来られた患者さん、ご家族が安心して療養に専念できるよう、看護師が支援をさせていただきます。入院予定の方にはパンフレットを使用した入院生活や手続き等のご説明を、状態が落ち着いて当院外来が終了する方には今後の「かかりつけ」を一緒に探すサポートを導入しました。ぜひお見知りおきくださいませ!



この看板が目印!



## 紹介予約外来・外来センター3階

### 役割

- 1 予約入院のご説明
- 2 かかりつけ選択のサポート
- 3 当日決まった入院手続き(外来センター発生の緊急)

## 歳時記



## 保育室そるとの修了式 (3月17・24日) (お別れ会)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、お子さんと保育士で小さな修了式を行いました。

一人ひとりしっかりと証書を受け取り、子ども達の成長を感じます。ご家族と共に子ども達の成長を見守ることが出来、本当に楽しい毎日でした。



健やかな成長を願っています

四国管財株式会社  
保育室そと 保育士  
尾崎 由芳 先生  
おざき ゆか



## 看護学校通信

### 新型コロナウイルス感染症対策下で 迎えた基礎看護学実習Ⅱ

近森病院附属看護学校 専任教員 松浦 美樹  
まつうら みき

1 年生は基礎看護学実習Ⅱを終えました。この実習は病院で初めて患者さんを受け持ち、患者さんに必要な看護援助を考え実践する実習です。新型コロナウイルス感染症の影響で、学内で模擬患者さん(教員)を対象に行う形となりました。ナースステーションや病室を再現した実習の中、教員の名演技で、学生達は患者さんの思いを中心に考え、個々にあった看護を考える必要性を学ぶことができていました。次年度は、新型コロナウイルス感染症が終息し、病院実習が行えることを願っています。



## 編集室通信

1月より、新たにひろっぱ委員に加わることになりました。入社してから毎月楽しみにしていた“ひろっぱ”の編集に自身に関わることができることを大変嬉しく思っています。職員の方はもちろん、他院の方や地域の方も含め、たくさんの人に近森の良さが届くように、精一杯近森愛を注ぎたいと思います。こっこ

## 診療数 令和4年3月

— 電子カルテ管理課 —

### ● 近森会グループ

外来患者数 ..... 19,570人  
新入院患者数 ..... 1,029人  
退院患者数 ..... 1,005人

### ● 近森病院(急性期)

平均在院日数 ..... 12.67日  
地域医療支援病院 紹介率 ..... 75.37%  
地域医療支援病院 逆紹介率 ..... 271.99%  
救急車搬入件数 ..... 572件  
うち入院件数 ..... 299件  
手術件数 ..... 542件  
うち手術室実施 ..... 341件  
うち全身麻酔件数 ..... 240件

# 大中 崇

Takashi Onaka

診療支援部 医事課  
地域医療連携センター 主任

聞き手／ひろっぱ編集部



心と体を笑って鍛えて、  
地域医療連携を  
脇から支える「営業マン」

## 老後のために

取材中、Yシャツの上からも分かる鍛えられた胸筋が気になったため、「鍛えられていますか?」と問う。

大中「出ていますか?」

ひろっぱ「はい、隠せていないようです」

大中「恐縮でございます」

大中主任の最近のブームは筋トレ。「さっきもトレーニングをしてきました」と昼休みにも実践している様子。「本当はランニングをしたいのですが、育児でまとまった時間を取れなくて。子供が寝ている間に走ったら良いのですが、つい一緒に寝ちゃって…」とそのあたりは自然体。筋トレは、すきま時間を見つけてチョコチョコできて良いリフレッシュになっているようだ。「職場の近くにある公園は最高です。あそこで、懸垂専用の器具と出会った時は感動しました。市役所の方に感謝です。よくぞこの器具を設置してくれた」と熱く語る。ちなみに筋トレに駆り立てる情熱の源は、老後のための“貯筋”だそうだ。



「生まれた瞬間から親ばかりです」とデレデレのパパ。筋トレをしていると上に乗ってきて良い負荷をかけてくれるようだ。

## 阿波踊りも踊れる長野県人、高知に流れ着く

第一印象は、爽やかかつ誠実そのもの。しかしながら、どこか飄々とした雰囲気もちらほら。出身は長野県長野市。大学時代に誘われて楽しそうだったという理由から徳島県人会に所属。阿波踊りにも参加し、四国を一体で見ていた節もあり、都内の別業種を経て、2013年に高知の近森病院に入職した。その後は、<sup>ひょうひょう</sup>ちゃっかり職場で現在の奥様と出会い結婚。現在は3歳と1歳の娘さんとともに楽しい日々を過ごされている。



職場では、医事課→企画課と渡り、この1月から地域医療連携センターに配属された。

まず企画課について尋ねると、しばらく考えた後、「大きな仕事として、ホームページのリニューアルがあり、先生方との調整をしていました。もちろんこの仕事も大切ですが、直接医療と関係のないことで時間を作ってもらうのに引け目を感じて、上手に立ち回れなかったのを覚えています。企画課では、自分の不甲斐なさに悔しいばかりでした。ずっと胃が痛かったです」と冗談を交えながら振り返った。現部署では、紹介



大中主任の永遠のバイブル「週刊少年ジャンプ」。奥様から処分するように言われるが、もう一回読み返したら、と毎回返事をしてせめぎ合いが続いている。

予約の取りまとめや救急のデータ情報の整理等がメイン。「業務の効率化に努めています。顔の見える連携を歴代重要としていますので、業務の効率化により時間を確保した上で、医療機関訪問を増やしていこうと思っています」。話しぶりからは、几帳面に、少し前に課題を決めコツコツと努力していくタイプなのが伝わってきた。

## おおらかさと雑談力ゆえに

「悩みなんてないでしょ?とよく言われます。それも小学生の頃からです。しっかり凹みますけどね」とおおらかに笑う。聞けば、父親は銀行員で、男ばかりの3兄弟の末っ子。きっと礼儀正しくもおおらかに歩まれてきたに違いない。取材中も一つのエピソードを上げたり下げたりオチを入れようと忙しく、何度か話が脱線したが、これも大中主任の雑談力ゆえ。礼儀正しい素地と、憎めないキャラクターは天性のもので、素晴らしい渉外能力を備えられていると感じた。医師とも、コメディカルとも違った事務職という立場からも、近森病院の魅力を伝えられる“営業マン”として、ますます活躍されることだろう。

